

地震・洪水に強靱な国にするためには？

～イランの行政官が神戸・高知で日本の防災の経験を学ぶ～

国際協力機構関西センター（JICA 関西）は国別研修イラン国「地方自治体における防災能力強化」研修を JICA 関西を中心に 8/19 から 9/13 まで実施します。イランから総勢 16 名の研修員が、防災計画の策定、防災能力の強化を目指し、日本の取組みを学んでいます。

イランも日本と同様に自然災害の脅威が常に存在する国であり、特に大規模な地震や洪水は多大な被害をもたらしており、それらへの対応・対策が喫緊の課題となっています。本研修では、持続可能な開発目標（SDGs）のゴール 11 にも関わる「仙台防災枠組 2015-2030」を基にした、防災計画の策定演習や、防災への事前投資事例を学ぶことで、イランにおける災害リスクの削減に貢献していきます。

この度、研修員は以下の日程で、土砂災害や洪水に対する事前防災投資の事例として神戸市の焼ヶ原堰堤や高知県日高村の放水路、いの町の名越屋沈下橋の視察を行います。ぜひ取材の検討をお願いします。



<取材可能な日程>		
8/28(水)	14:00-15:30	講義：六甲山地における土砂災害と六甲砂防事務所の取組み 講師：国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所 (於 六甲砂防事務所：神戸市東灘区住吉東町3-13-15)
	15:50-16:20	視察：焼ヶ原堰堤 (神戸市東灘区住吉山手9-5-12付近)
9/2(月)	14:00-15:00	講義・視察：高知県日高村放水路 講師：国土交通省高知河川国道事務所 (日下川新規放水路工事現場：高知県高岡郡日高村沖名524)
	15:30-16:00	視察：名越屋沈下橋 (高知県吾川郡いの町勝賀瀬)

取材をご希望の場合は、各日程の 1 週間前を目安に下記までご連絡ください。また、参加者への個別インタビューもアレンジ可能です。(ペルシャ語⇄日本語の通訳有)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西センター 永田 禎章

TEL 078-261-0386 e-mail : Nagata.Yoshiaki.2@jica.go.jp